

日時： 2009年12月9日18:30~21:00

場所： ハートピア京都・第4会議室

- 議題： 1. 第2回定例会議の振り返り（アンケートから意見抽出と対応案（勉強会共）／意見交換）
2. 各議題チームの進捗報告など
3. 議題チームへのフォロー／サポートについて
4. 第3回定例会議のプログラム案（+勉強会）について
5. 定例公開フォーラム（中期プログラム）に向けての意見交換
6. その他

参加者：幹事 / 平井、美濃部、[新妻]、[中園]、上原、船戸 []はリーダー兼務
リーダー / 長澤、若村、佐藤、大西、田村（代理）萩原、村木、藤崎

傍聴 / 木村（敬称略・順不同）

事務局 / 山口、立花、片桐、西尾、飯田、絹川、小林、奥園、松葉、佐原、保田

議事概要（▽印は議事の説明、・印は出された意見）

1. 第2回定例会議(11月28日)の振り返り

▽事務局より、アンケート集計結果に基づき、意見抽出と対応案を説明した。ここでは報告にとどめ、議論はそれぞれの項目で行うことになった。

2. 各議題チームの進捗報告など

▽まず出席リーダーからチーム状況の報告があった。

城と堀川・・・二条城をどうするではなく、二条城と何をやっていくかを考えるという方向性にある。

さくら祭への参加、七夕祭など観光客と何かできないかを考えていく。

京都を豊かにする・・・前回豊かにする方法論を検討した。資料を精査しながら、テーマの絞込みを行っていく。

人づくり・・・京都市の「子育ていきいきセンター事業」の活用について検討。施設見学や深草での街歩き（空店舗活用を検討するため）を行う。

歩きやすい道・・・ウェブサイトを作りたいがなかなかできない。

きわみ・・・12月20日の若者100人委員会に、まだ参加者が思うように集まっていない。協力をいただきたい。

山紫水明・・・「にこわく」と合同で5月に筍掘りをやる予定。

おもてなし・・・市の観光基本計画の案に意見が入っている。従来は行政や事業者のための印象が強い観光政策に、市民の意見がより反映されるような取組を目指していく。

岡崎・・・市美術館で蜂ヶ岡中学と共同で、こどもパスポートのデザインのプレゼンを行う。市動物園には、12月22日に、チームがどう係るべきか検討するためのヒアリングを行う。

▽チーム報告ののち、代表幹事より幹事会（11月28日開催）の報告がされた。幹事の役割は、事務局の良き相談相手（アドバイザー）であり、委員会運営の運営幹事（サポーター）であると確認した。

また、リーダー幹事会は、全体の情報共有と事務局が様々な提案をする上でメンバーの声をしっかり聞く場としてあり、当日までに様々なことを確認しておく場所であるということが確認された。

- ・メンバーは今後どうしていくのか。
- ・幹事の役割についての説明を委員全体にしてほしい。
- ・幹事会やリーダー幹事会のあり方を明文化すべきではないか。
- ・100人委員会は、全員ですすめていく委員会であり、幹事会やリーダー・幹事会議のあり方を明文化することは適切ではないのではないか。

▽議論の後、事務局が全体会議やリーダー・幹事会議で、委員全体の意見を聞きながらもっとよりよい委員会になるよう進めていくという方向が代表幹事より示された。

3. 議題チームへのフォロー／サポートについて

▽事務局からの説明ののち、議論に入った。

- ・事務局は、チームの告知などをプレスリリースできる体制をつくるべき
- ・ホームページを充実させるべき
- ・ホームページを、100人委員会内部で共有する情報と広報を充実させるための情報をそれぞれ充実させるために、メンバーエリアと公開エリアに分けるべきでは

▽これらの意見は事務局で実現させることになった。

▽富士通からの協力の申し出について議論した。一度全体でプレゼンを聞く機会を持つことになった。また外国の方うれしい街チームから、興味を持っているという意向が示された。

4. 第3回定例会議のプログラム案（+勉強会）について

▽事務局からの説明ののち、出席者から意見が出された。

- ・勉強会について、「価値共創型・公共マネジメント研究会での発表内容」「未来まちづくりプランについて」「次期基本計画策定について」を提案したい。
- ・前回の各チームの発表時間が短く理解が充分でないというアンケートの意見に対し、チーム発表を小さい付箋を持って発表を聞き、それを貼って後から見て確認できるという風にはできないか。
- ・月1回の定例会議で全体会議が長いと、チームの議論が短くなって困る。
- ・発表に十分な時間を持たせつつ、全体会議を延ばさないように、チーム発表を半分に分けて隔月にできないか。
- ・全チームでなくエントリー制にしてはどうか。

▽この場で出た意見をふまえてプログラムを作成することを確認した。発表での付箋は採用することになった。

▽最初の全体会議で意見や質問を受けることは必要であり次回から実施する。

5. 定例公開フォーラム（中期プログラム）に向けての意見交換

▽事務局が定例公開フォーラムの素案を説明した。その後、委員から開催形式などについて以下のような意見が出された。

- ・あてる時間は90分～120分ぐらいではないか。
- ・定例フォーラム後に全体会議をやることは難しいのでは。（同一会場では難しいのではないか）
- ・ゼストの廊下でフォーラムをやってはどうか。
- ・こればかりに時間を使うと、チーム会議の時間がとれなくなる。
- ・定例会議と同じ日にやるということには無理があるのではないか。
- ・100人委員会全体ではなく、定例フォーラムと同時並行で他チームがチーム会議を持ってもよいのではないか。
- ・各議題チームのテーマにこだわらず、100人委員会で特定のテーマを決めてフォーラムを別に開催すればいいのでは。
- ・3月について全チームが参加するという意見があるが、一つのチームでやるべき。

▽事務局がこれらの意見をふまえ、3月の開催を目途に具体案を検討していくことになった。

6. その他

▽次回「リーダー・幹事会議」日程：

日時：1月13日（水）で決定 18:30～

会場：ハートピア京都（3階）視聴覚室（後日予約済）

以上